## イスラ ムにおける悲しみの (5/5)

:

明:では、いかに悲しみに すべきでしょうか。

目: 事禁 行 とその 践スラ ム的モラルと

より: J. ハ シミ

⊞02 Sep 2013

集日 02 Sep 2013



この投稿において述べられてきた全てのことは、非常に重要なことですが、 局は次の に集 されます。私たちは、 が降りかかってきたとき、いかにそれがもたらす悲しみに すべきなのでしょうか? あらゆる人々は人生において悲しみと直面しなければならず、一部の人々は他の人々よりも多くそれを します。人々は なった方法で悲しみに しますが、信仰者としてどのような をすべきなのでしょうか。

信仰者がまず第一に しなければならないこととは、 は神がもたらすものであるという ことです。クルア ンはこう述べます。

## *"????????????????????"??????*4:78?

それらが神によるものであると理解すれば、私たちは神が慈深き御方(アル=ワドゥド)、最も切な御方(アル=バッル)であると付くことが出来ます。神が私たちに定

めることには、それに直ちに 付くことが出来るかどうかに わらず、一定の善きことが 含まれているのです。全能なる神はこう述べます。

大なイスラ ム学者、ハサン アル=バスリ はこう述べています。

"降りかかる とそれによってもたらされる不幸に 慨してはならない。あなたが嫌うことには救 があるかも知れず、あなたが好むことには破 があるかもしれないのだから。

例えば、ある男性が解雇されたとすれば、そうされなければ可能ではなかった、より 良い仕事を つける手段になるかもしれないのです。 による かなる恩 の一つは、神の御 意による罪の赦しです。ムスアブ ブン サアド ブン マ リクは、父 がこのように言ったと えています。

ファドル ブン サハルは述べています。

" には罪の い、忍耐への を得る 会の他、怠慢を追い い、健康という祝福を思い起こさせ、悔悟 喜 を促すため、 明な者が すべきでない祝福があるのだ。"

信仰者は、 が降りかかった には神へと立ち返るべきです。そうすることにより、 は信仰者に、神のみを崇 するという人生の唯一の目的を思い出させるのです。これこそは、私たちの存在する意味であり、人生の目的なのです。神はクルア ンにおいてこう述べます。

*"????????????????????????????51:56?* 

人は 境において、たびたび主への崇 を忘れます。そして がやって来ると、ようやく神 への を始めるのです。このように、 は私たちが 造された目的を思い出させる役割を果 たします。シャイフ アル=イスラ ム(代表的イスラ ム学者の称号)、イブン タイミ ヤ はこう述べています。

"人を神へと立ち返らせるは、神への想念を忘れさせる祝福よりも良いのである。"

イマ ム アッ=スフヤ ンは述べています。

"人が嫌うものは、人を神へと させ、人が好むものは人を(崇 行 に) 着にさせるため 、人が嫌うものは人が好むものよりも良い 合があるのだ。"

それゆえ、 が降りかかれば、私たちは「神に称 あれ(アル=ハムドゥ リッラ )」といって感 の 持ちを表すべきなのです。 言者ムハンマド(神の慈悲と祝福あれ)はこう述べています。

シャイフ アル=イスラ ム、イブン タイミ ヤが不当にも投 された 、彼はそのことを から与えられた祝福であるとみなしました。シャイフ アル=イスラ ムはその期 を神への崇の に やしました。彼はこう述べています。

"は私に して何が出来るだろうか。…

投 は宗教的な 遁(神への崇 の 会)で、私の 害は殉教であり、私の故 からの追放は旅なのである。"

言者ムハンマドは述べています。

私たちは、神が でられる者たちに を すことを思い出すべきです。 言者はこう述べています。

さらに、 言者はこう述べます。

## "?????????????????

や悲しみによって、 世の 々な罪は われ、来世においてそれらの罪に する を受けずに みます。 言者ムハンマドはこう述べています。

神が私たちに をもたらすのは、私たちを破 するためでも、私たちの意思を挫くためでも、私たちに止めを刺すためでもなく、それは私たちの忍耐と信仰を するための手段 なのです。 や苦 がなければ、人は傲慢、 思 、 なな心を持つようになり、それらは地 の底へと くでしょう。それゆえ、そうした心の病を すための治 として、また破 をもたらすであろう人格の い要素を取り除くため、神の慈悲によって が されるのです。

人生において が降りかかったときは、神が私たちへの いとしてくれることを期待すべきですが、それに する忍耐を示さなければなりません。究 の いとは、 世におけるものではなく、来世のものであり、それについて 足すべきです。アブ スフヤ ンはムスリム防 の いにおいて目を失い、彼の 力が るように祈ってくれるよう 言者に みました。 言者が彼に、 世と来世のどちらで 力をあたえられるのが良いかと ねると、アブ スフヤ ンは来世への いが良いと答えました。事 、アブ スフヤ ンはもう片方の 力も失ったのです。

神は述べます。

信仰者は して、神の慈悲に 望してはなりません。神が信仰者に救いをもたらさないと 考えてはならないのです。事 、アラビア のサタン(イブリ ス)は、「 望」を意味する ????

という 根から成り立つ言 です。サタンに( 言者アダムの 造によって彼が「格下」になるという) が降りかかったとき、彼はそれが神のもたらした良いことであるとは考えず、神の慈悲に 望し、快 主 に りました。同 に、一部の人々は が降りかかると、 酒やその他の罪深い行いに走り、苦痛を和らげようとします。しかし、信仰者は 望する代わりに、神へと立ち返るべきなのです。神はかれの 造に し、こう保 します。

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/1850

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。